



平成15年6月24日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所1号機 第28回定期検査の状況について

- ・主給水逆止弁付属部品紛失
- ・制御棒外観目視検査により確認された線状模様

当社、敦賀発電所1号機（沸騰水型軽水炉：定格出力35万7千kW）は、平成15年6月14日より第28回定期検査を実施しておりますが、6月23日、格納容器内に設置されている主給水逆止弁*1の分解点検を実施していたところ、弁本体を支える弁軸の両端に取り付けられている2個のワッシャー（直径56mm、内径32.5mmのリング状、ステンレス製）のうち、片方のワッシャーが紛失していることを確認しました。

また、ワッシャーと接する軸表面2箇所と残っていたワッシャーの内側が磨耗減肉していることを確認しました。

これまでに、当該弁近傍の主給水配管内の目視点検を行いましたが、紛失したワッシャーは発見されていません。

今後、範囲を拡大し紛失したワッシャーの調査を行います。

また、本日、制御棒点検工事*2において、1本目の制御棒を外観目視点検したところ、制御棒表面のシース（ステンレス材の板：SUS316L）とハフニウム板固定部材（ステンレス材）との溶接部近傍のひび割れと思われる10箇所に線状模様（長さ数センチ）を確認しました。

今後、この制御棒と同タイプの新型制御棒*34本についての点検を行います。

なお、両事象による環境への放射能の影響はありません。

*1 主給水逆止弁

原子炉圧力容器に送られる冷却材（給水）が流れる配管に取り付けられた弁で、給水の逆流を防ぐ機能を持つ。

*2 制御棒点検工事

前回定期検査で取り替えた制御棒5本（新型制御棒）のうち2本の外観目視点検を実施予定。

*3 新型制御棒

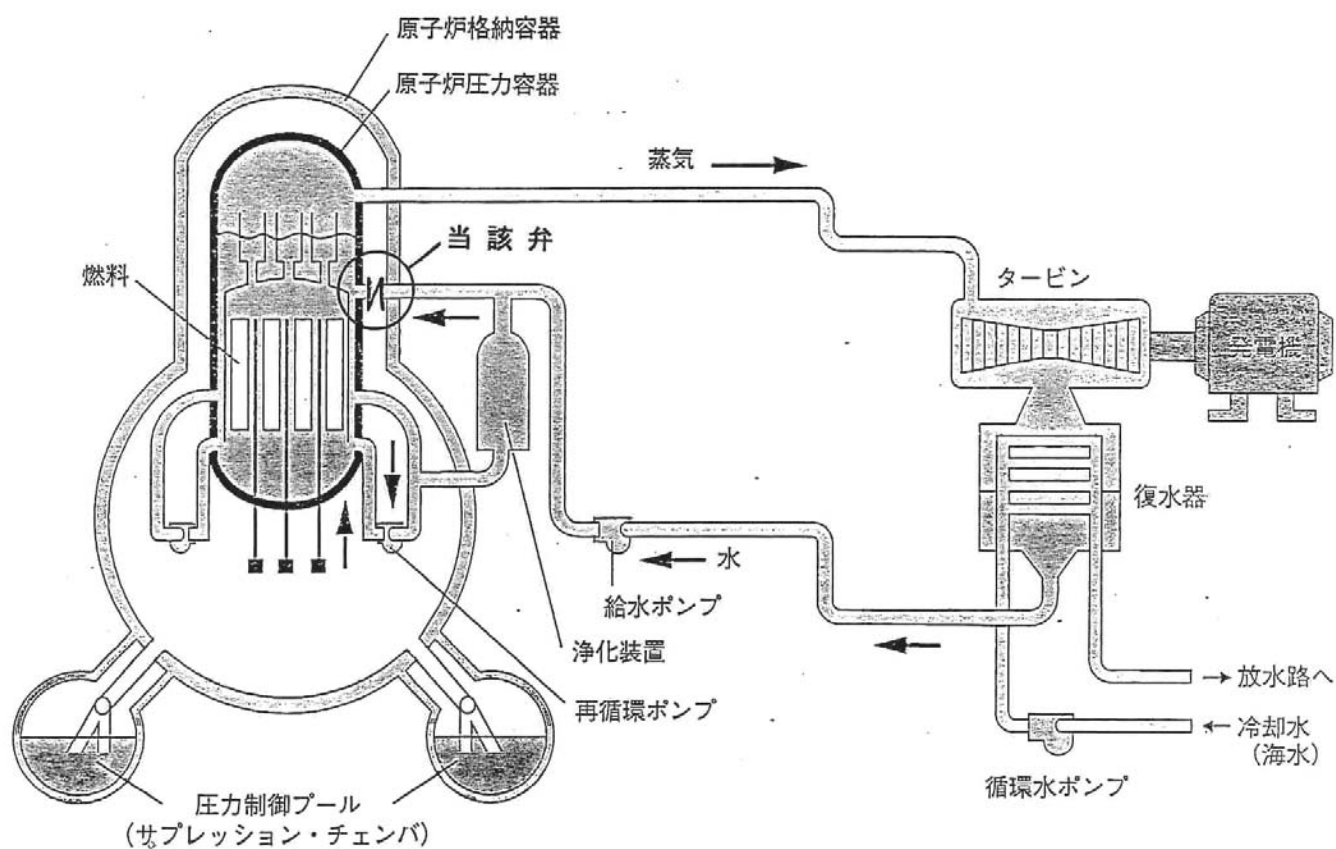
中性子吸収材を従来のボロンカーバイト粉末からハフニウム板に変更することにより、炉内で長期間使用可能となる。そのまま、敦賀1号機では前回定期検査時に5本導入した。

添付資料1 主給水逆止弁付属部品の紛失

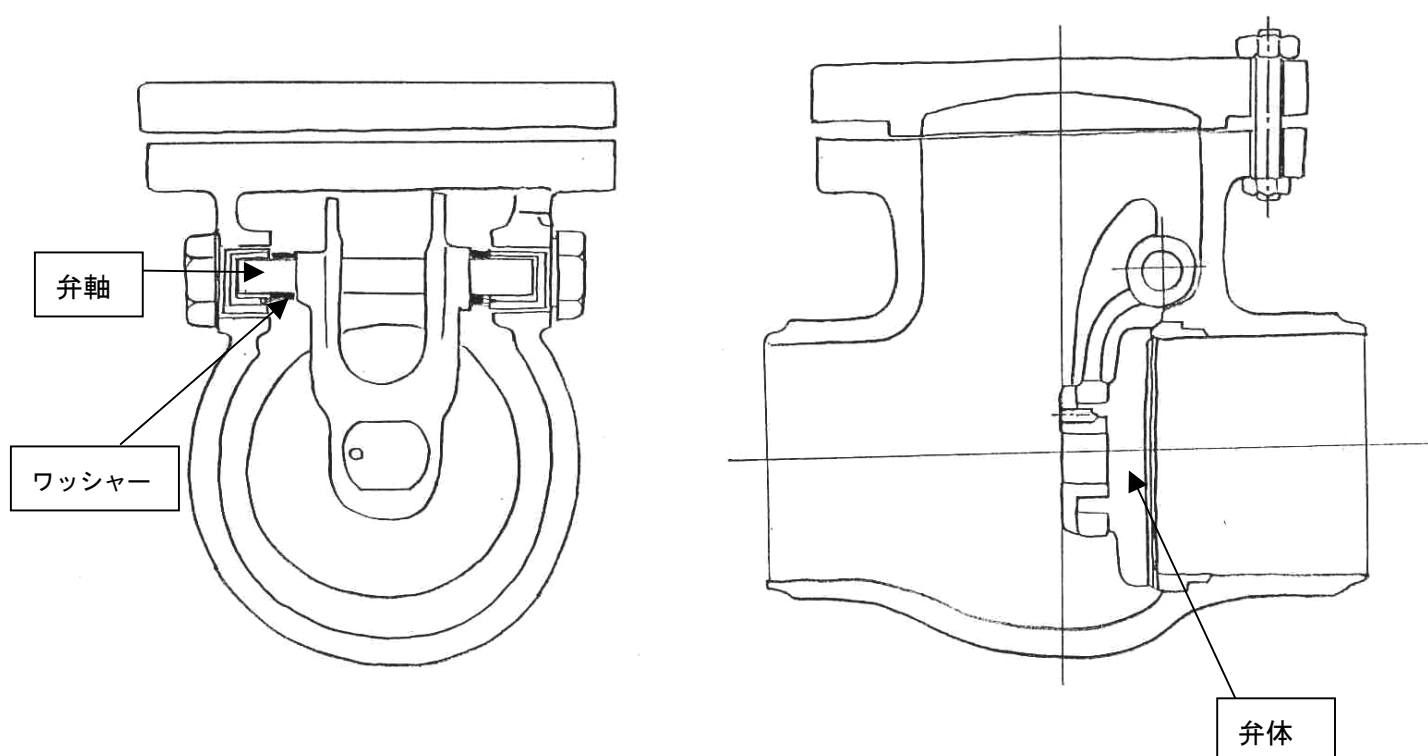
添付資料2 敦賀発電所1号機制御棒外観目視点検により確認された線状模様

主給水逆止弁付属部品紛失

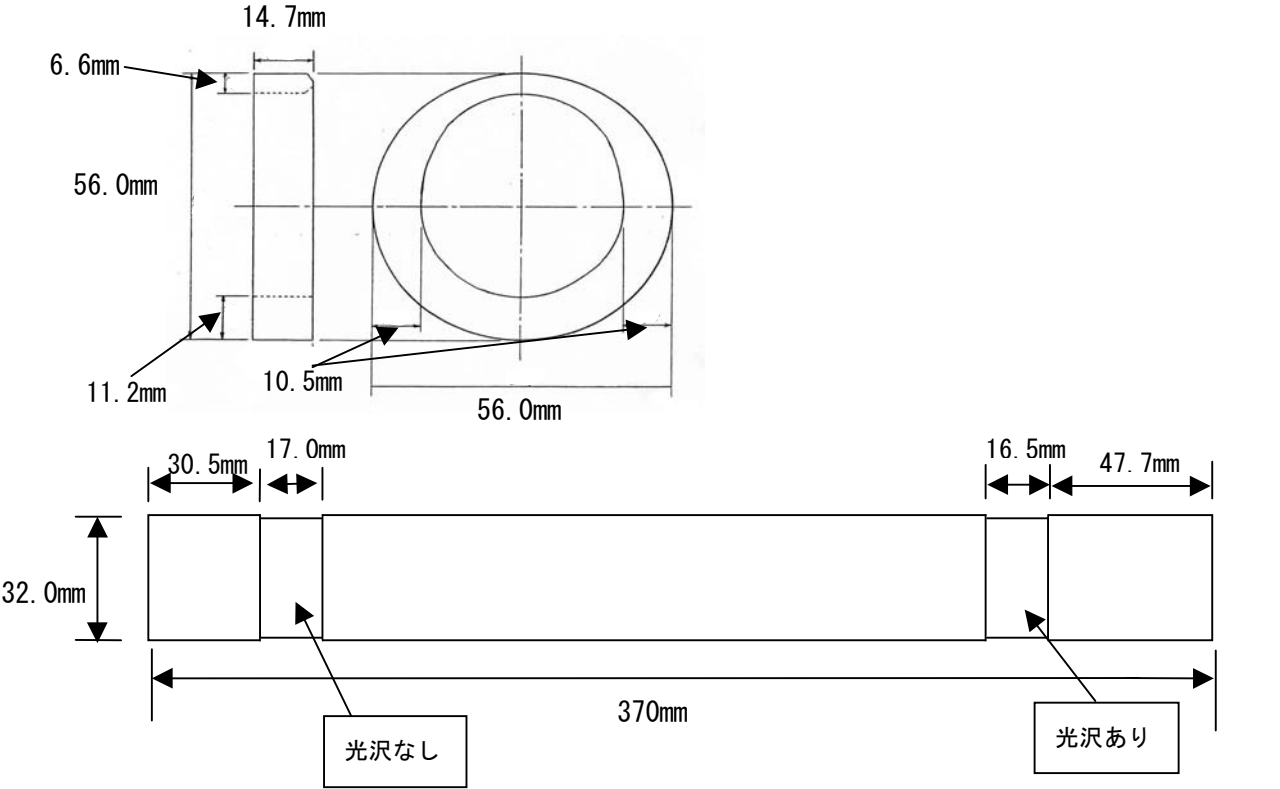
1、系統概略図



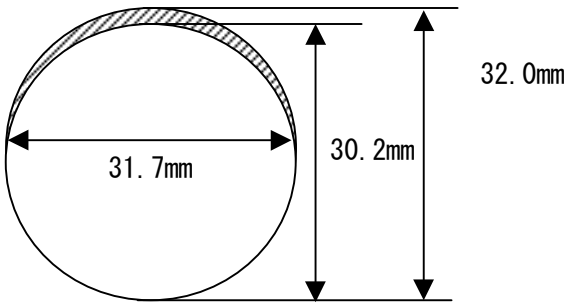
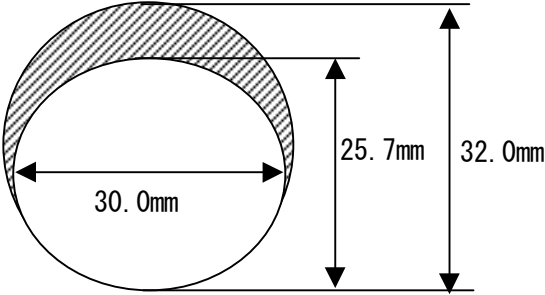
2、逆止弁構造図



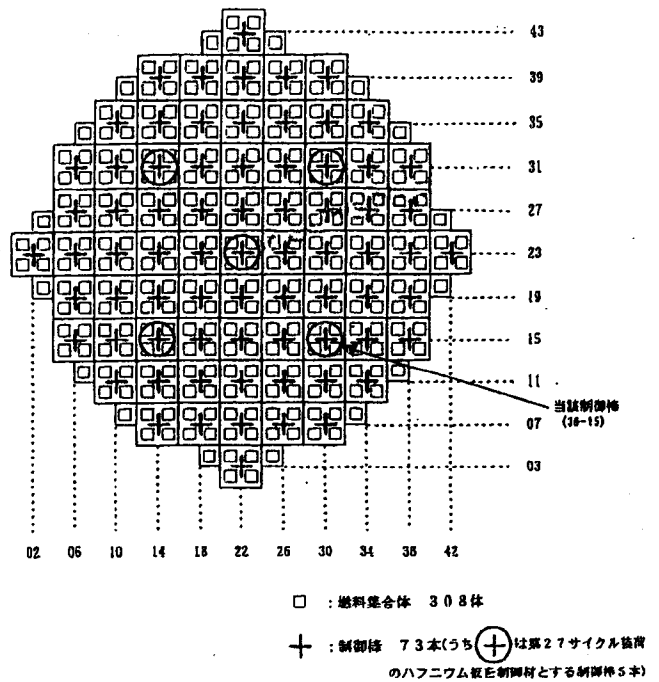
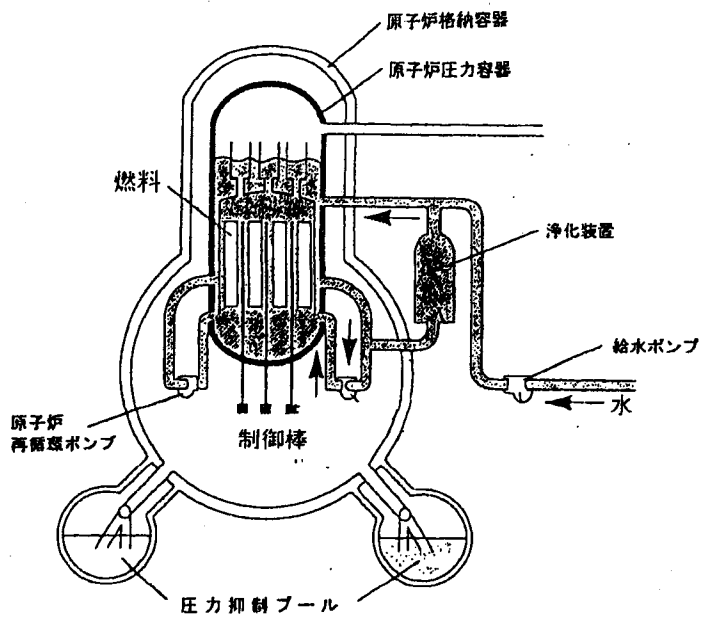
3、弁軸・ワッシャー寸法



断面図

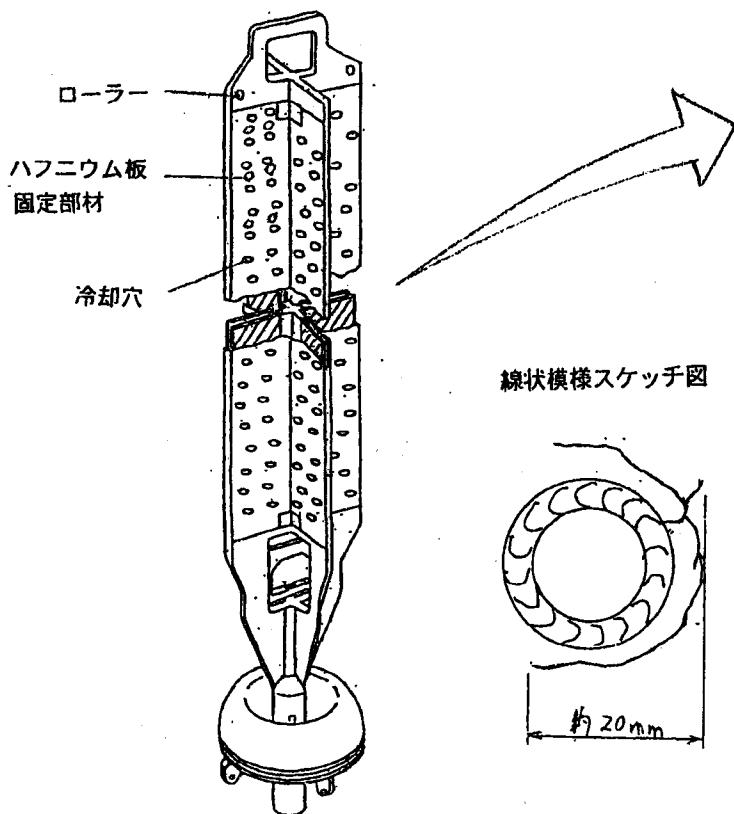


敦賀発電所 1 号機制御棒外観目視点検により 確認された線状模様

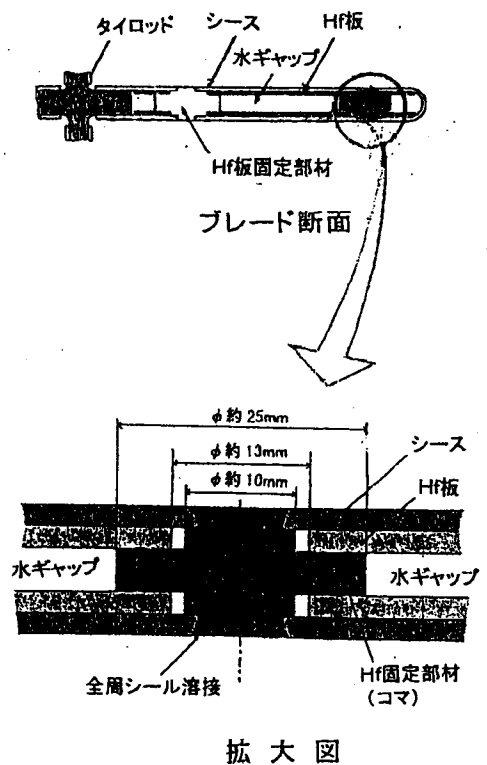


(沸騰水型軽水炉) 概要図

制 御 棒 位 置 図

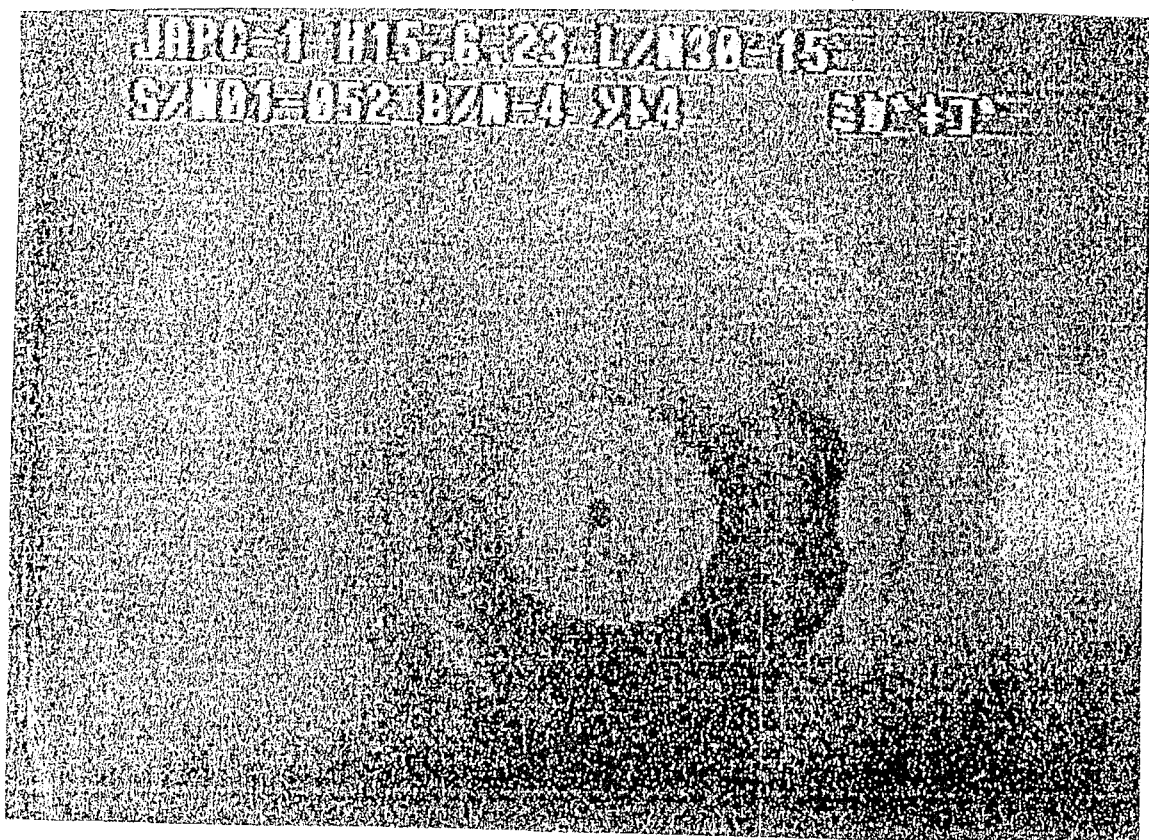


制 御 棒 概 略 図



新型制御棒コマ部説明図

部位: マ溶接部 J



部位: マ溶接部 J

